“伝わらない”が生む
チームワークのすれ違い

—— 今求められる
対話の可視化とは



CONTENTS

“伝わらない” が生む チームワークのすれ違い ――― 今求められる対話の可視化とは

調査背景
2 つながってるのに噛み合わない、リモート・ハイブリッド環境

調査結果から見えた課題
3 調査結果で見えたリモート・ハイブリッド環境でのコミュニケーション課題
4 調査結果1：リモート勤務頻度が高いほど、コミュニケーション課題が増す傾向
5 調査結果2：部下一人ひとりに合わせた声かけや指摘が難しく、伝え方に悩む場面が増えている
6 調査結果3：部署やチーム内で議論が活発にならず、温度差が広がりやすいため、一体感が薄れる
7 調査結果4：取引先の人となり、本音やニーズがつかみづらく、関係構築に時間がかかる―商談チャンスを逃す要因にも
8 伝わっていないを解決！オンラインホワイトボードが非対面コミュニケーションに最適なワケ
9 調査結果5：社内でも社外でも「意思疎通がスムーズになった」「共通認識が持てるようになった」と実感

Cacoo（カクー）で広がるチームの可能性
10 アイデアをカタチにしてチーム力を加速！みんなでつながる「オンラインホワイトボードツール」
11 Cacoo（カクー）が実現する業務改善とチームの一体感
12 Cacooなら、みんなのアイデアを可視化、チームのゴールをカタチにできる
13 CacooとBacklogの連携が生む共通理解と信頼。チームの成果を最大化！
14 リアルタイムの意思表示・反応が可能！ 付箋×コメント機能で変わるオンライン会議
15 豊富なテンプレートでプロジェクトのチームワークを最大化
16 CacooならURLひとつでチームに届けられる

ご利用案内
17 オンラインセミナー・トライアルのご案内

© 2026 Nulab inc. All rights reserved

つながってるのに噛み合わない、リモート・ハイブリッド環境

ハイブリッド勤務の浸透によりコミュニケーション環境が一変

伝えたいこと、細かいニュアンスが
伝わらない

＝「情報そのものの認識違い」

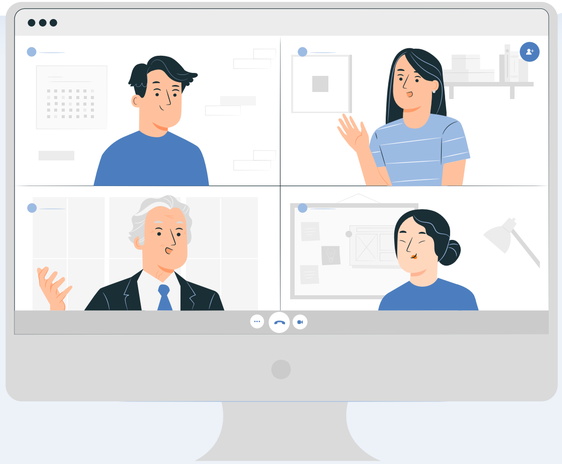
相手のホンネや相手の立場・距離感を意識して
活発な意見交換ができない

＝「感情・気持ちの行き違い」

部下に指摘を
上手く伝えづらい

形式的で
会議が形骸化

細かい「ニュアンス」が
伝わらない



部下から
本音を引き出しにくい

相手の発言の
真意・背景がつかみづらい

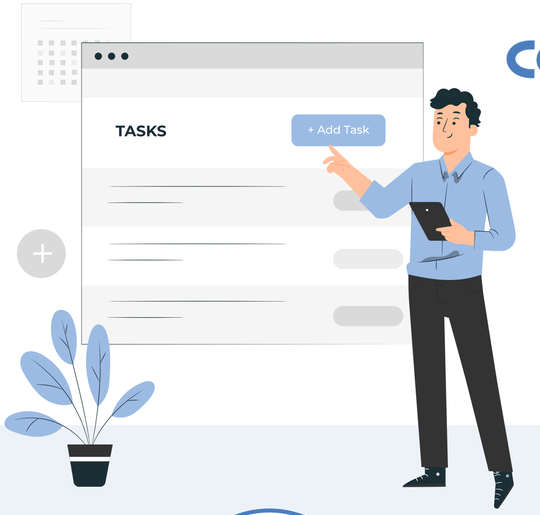
会議では
発言者が偏る

うまく意図が伝わってい
るか不安になる

© 2026 Nulab inc. All rights reserved

調査結果で見えたリモート・ハイブリッド環境でのコミュニケーション課題

2025年3月に実施した全国調査では、リモート・ハイブリッド勤務が日常化する中で、
コミュニケーションに関するさまざまな課題が浮き彫りとなりました。



POINT 1

リモート勤務の頻度が高まるほど、部下や上司といったチーム内だけでなく、取引先などチーム外のコミュニケーションにも課題が生じやすくなる傾向

POINT 2

上司・部下・同僚・取引先すべての関係において相手の反応、温度感、雰囲気が伝わりにくいため、「発言の背景や真意が十分に伝わらず、意図が正確に読み取れない」「適切なコミュニケーションの距離感がつかみにくい」などの問題が顕在化

POINT 3

部署内のMTGでは一部のメンバーだけが発言し、一方通行かつ偏ったやりとりが発生することで会議が形骸化し、チームの一体感も損なわれる。社外パートナーや顧客との関係構築も対面時に比べて難しくなる傾向

■調査対象　［性別］男女［年齢］20 ～ 50代［地域］全国［その他条件］有識者／企業規模10人以上／役職係長以上／マネジメント業務あり／週1以上PCデスクワークあり
■調査時期　2025年3月5日～ 3月6日　■調査内容　リモートワークにおけるコミュニケーションの課題　■調査機関　ネオマーケティング株式会社　■調査方法　ネットリサーチ

© 2026 Nulab inc. All rights reserved

調査結果

1

リモート勤務頻度が高いほど、コミュニケーション課題が増す傾向

リモート勤務の頻度が高い層ほど、部署内外における意思疎通や関係構築に支障をきたしていることが明らかになりました。

課題解決に向けて

コミュニケーション上の課題に対しては、コラボレーションツールを活用した可視化・共有を促進することが必要です。情報・意見・アイデアをリアルタイムで整理、共有したり、非言語情報をリアクションスタンプや絵文字で補完したりするのも効果的です。

あなたが感じるリモートワークの課題感をすべてお答えください

全体［n=1,000 複数回答］

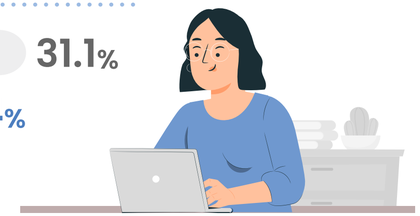
コミュニケーション課題

課題1	課題2	課題3
会社に出社しないと閲覧・参照できない資料やデータなどがある	部下との連絡・意思疎通に苦労する	同僚との連絡・意思疎通に苦労する
30.0%	29.8%	23.6%

あなたが感じるリモートワークの課題感をすべてお答えください

リモートワーク頻度別［複数回答］

ほぼ毎日［n=85］	課題1 部下との連絡・意思疎通に苦労する	38.8%
	課題2 上司との連絡・意思疎通に苦労する	29.4%
	課題3 営業・取引先等との連絡・意思疎通に苦労する	28.2%
	課題3 仕事とプライベートの境目が曖昧になり、疲労やストレスが溜まる	28.2%
週1～3日程度［n=258］	課題1 部下との連絡・意思疎通に苦労する	32.9%
	課題2 同僚との連絡・意思疎通に苦労する	30.2%
	課題3 会社に出社しないと閲覧・参照できない資料やデータなどがある	29.5%
	課題3 仕事とプライベートの境目が曖昧になり、疲労やストレスが溜まる	29.5%
ほぼしない※［n=657］	課題1 会社に出社しないと閲覧・参照できない資料やデータなどがある	31.1%
	課題2 部下との連絡・意思疎通に苦労する	27.4%
	課題3 上司との連絡・意思疎通に苦労する	21.2%



※‥週1未満を含む

© 2026 Nulab inc. All rights reserved

調査結果

2

部下一人ひとりに合わせた声かけや指摘が難しく、伝え方に悩む場面が増えている

リモート環境では、一人ひとりの性格や仕事のスタイルに合わせた細やかな対応が難しくなります。ちょっとした変化が見逃されがちで、「今声をかけていいか」「どう伝えるべきか」が判断できず、結果的に十分なコミュニケーションがとれなくなっている実態が見えてきました。

課題解決に向けて

こうした状況は個人のパフォーマンスだけでなく、チームや組織全体の成果にも直結します。そのためリモート化では上司は業務に関する相談、意見や感情面の共有がしやすい“場”を意識的に作る必要があります。上司と部下が信頼関係をしっかり築けていると、部下の仕事に対する意欲やチームへの貢献度が自然と高まります。

部下との１対１のコミュニケーションで課題に感じていることを最大５つまでお答えください

全体［n=1,000 複数回答］

課題１	課題２	課題３
個々の性格やタイプに合わせた対応が難しい	一方通行のコミュニケーションになりがち	ネガティブな情報の伝達が難しい
17.5%	17.5%	16.8%

部下との１対１のコミュニケーションで課題に感じていることを最大５つまでお答えください

リモートワーク頻度別［複数回答］

ほぼ毎日［n=85］	課題１	相談をしやすい雰囲気を作るのが難しい	20.0%
	課題２	十分なコミュニケーション頻度や時間がとれない	20.0%
	課題３	結果だけではないプロセスの共有・把握が難しい	20.0%
週１～３日程度［n=258］	課題１	ネガティブな情報の伝達が難しい	19.4%
	課題１	一方通行のコミュニケーションになりがち	19.4%
	課題２	個々の性格やタイプに合わせた対応が難しい	17.8%
ほぼしない※［n=657］	課題１	個々の性格やタイプに合わせた対応が難しい	17.8%
	課題２	世代間の価値観ギャップを感じる	17.5%
	課題３	細かいニュアンスを伝えるのが難しい	17.4%

※‥週１未満を含む



© 2026 Nulab inc. All rights reserved

調査結果

3

部署やチーム内で議論が活発にならず、温度差が広がりやすいため、一体感が薄れる

会議のオンライン化が進む中、チーム内の議論が形式的になり、特定のメンバーのみが発言するケースも見られます。多くはカメラ・マイクをオフにしたまま受け身で参加し、会議の形骸化が懸念されています。

課題解決に向けて

活発な議論が行われないとチーム内で目標に対する温度差が生まれ、一体感が損なわれてしまいます。チームで大きな成果を生み出すためには、メンバーが個々の役割を淡々とこなすだけでなく、互いに助け合い、相乗効果を生み出すことが不可欠です。

部下との１対１のコミュニケーションで課題に感じていることを最大５つまでお答えください

全体［n=917 複数回答］

課題１	課題２	課題３
意見を発信する人が偏る	細かいニュアンスの伝達が難しい	会議が形式的になり、実質的な成果がない（形骸化しがち）
20.2%	16.7%	16.2%

部署全体でのコミュニケーションで課題に感じていることを最大５つまでお答えください

リモートワーク頻度別［複数回答］

ほぼ毎日［n=77］	課題１ 会議が形式的になり、実質的な成果がない（形骸化しがち）	20.8%
	課題２ 十分なフォローアップができない	18.2%
	課題３ 意見を発信する人が偏る	16.9%
週１～３日程度［n=249］	課題１ 意見を発信する人が偏る	20.5%
	課題２ 会議が形式的になり、実質的な成果がない（形骸化しがち）	16.9%
	課題３ 細かいニュアンスの伝達が難しい	16.5%
	課題３ 情報共有が不足している	16.5%
ほぼしない※［n=591］	課題１ 意見を発信する人が偏る	20.5%
	課題２ 細かいニュアンスの伝達が難しい	17.1%
	課題３ 会議が形式的になり、実質的な成果がない（形骸化しがち）	15.4%

※‥週１未満を含む



© 2026 Nulab inc. All rights reserved

調査結果

4

取引先の人となり、本音やニーズがつかみづらく、関係構築に時間がかかる―商談チャンスを逃す要因にも

オンラインでの商談は対面時で得られていた“人となり”や雰囲気に関する情報が得られにくく、また雑談の機会も減少するため、本音やニーズが見えにくくなる傾向があります。その結果取引先との距離感が縮まりづらく、商談の精度にも影響する可能性があります。

課題解決に向けて

こうしたコミュニケーションのギャップを埋めるためには、図式化しながら説明したり、意見をまとめたりなど、視覚的な動きを通して、相手の考えや意向をくみ取る必要があります。
オンライン商談でありがりちな一方的な説明を回避し、双方でのやり取りが生まれるツールの活用などが必要です。

社外の方とのコミュニケーションで課題に感じていることを最大５つまでお答えください

全体［n=913 複数回答］

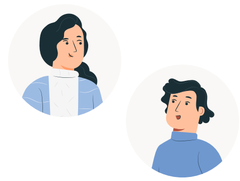
課題１	課題２	課題３
細かいニュアンスの伝達が難しい	オンラインだと相手のホンネが聞き出せない	相手の立場を考えた言い回しや距離感が難しい
23.9%	14.9%	14.9%

社外の方とのコミュニケーションで課題に感じていることを最大５つまでお答えください

リモートワーク頻度別［複数回答］

ほぼ毎日［n=77］	課題１	細かいニュアンスの伝達が難しい	20.8%
	課題１	相手の期待値調整が難しい	20.8%
	課題２	オンラインだと相手のホンネが聞き出せない	18.2%
週１～３日程度［n=243］	課題１	細かいニュアンスの伝達が難しい	24.3%
	課題２	迅速な対応が求められる	20.2%
	課題３	複数関係者の意見調整が難しい	19.3%
ほぼしない※［n=593］	課題１	細かいニュアンスの伝達が難しい	24.1%
	課題２	オンラインだと相手のホンネが聞き出せない	14.5%
	課題３	相手の立場を考えた言い回しや距離感が難しい	13.8%

※‥週１未満を含む



© 2026 Nulab inc. All rights reserved

伝わっていないを解決！
オンラインホワイトボードが非対面コミュニケーションに最適なワケ

リモート・ハイブリッド環境では「伝えたつもり」が「伝わっていない」ことが多々あります。オンラインホワイトボードツールは視覚的にアイデアを共有し、議論し、共同作業を行うためのツールで活発なコミュニケーション、効率的なコラボレーションを可能にします。



オンライン上でニュアンスを含めた議論の内容・経緯を「見える化」



会議に参加できなかった人にも共有しやすい・受け取った人もわかりやすい

情報そのものの認識違いが起きない



口頭での発言を躊躇する人も書き込めるので、タイミングを気にせず、気軽に意見を出しやすい



「同じ場」でリアルタイムに共同作業ができて距離・場所を問わずつながれる

誰もがどこにいても意見を言いやすく、
「一緒に働いている」感覚を持って業務に取り組める

チームの一体感、目標や成果に対する関心が高まり 組織全体のパフォーマンスや成長力を底上げする

© 2026 Nulab inc. All rights reserved

調査結果

5

社内でも社外でも「意思疎通がスムーズになった」「共通認識が持てるようになった」と実感

オンラインホワイトボードの活用により、チャットやメールでは伝わりづらいニュアンスが補われ、円滑なコミュニケーションが可能であることが示されました。議論のリアルタイムでの図解、付箋機能を通じて、発言しづらいメンバーの意見も拾いやすくなり、共通認識の形成やチームの結束力向上に寄与しています。議論内容が記録として残ることで、振り返りや不参加メンバーとの情報共有も容易になります。

オンラインホワイトボードツールを使うことで感じた効果

全体［n=139 複数回答］

1位	社内の1対1コミュニケーションがスムーズになった	87.8%
2位	業務や意思決定プロセスが整理・可視化され、共通認識を持てるようになった	80.6%
3位	社内のチームコミュニケーションがスムーズになった	78.4%
4位	チームのビジョンや目標が整理・可視化され、共通認識を持てるようになった	75.5%
5位	会議での意見コメントが活発に出るようになった	74.1%

シーン別非対面でのコミュニケーションをしていた層で感じられた効果

非対面コミュニケーションあり［*1 n=84 *2 n=83 *3 n=99 複数回答］

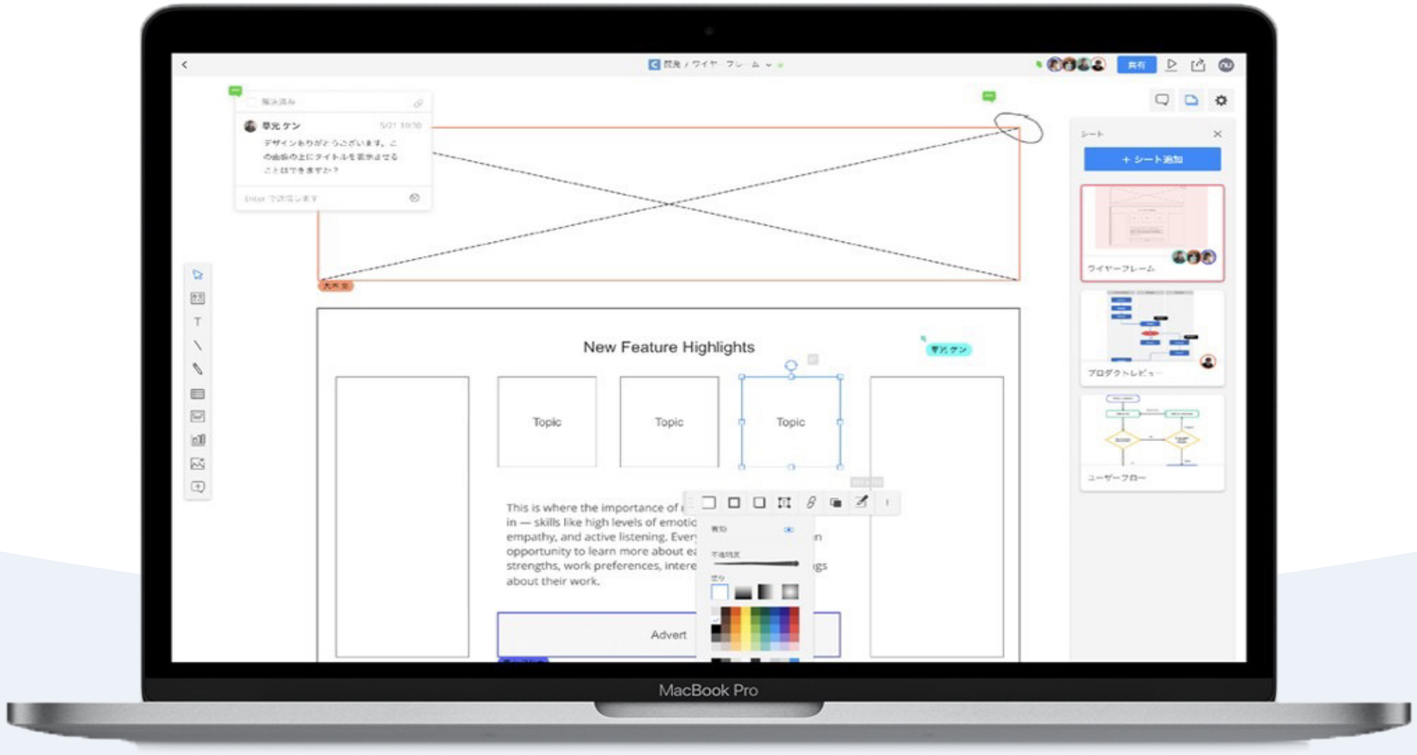
		1on1*1	部署内 *2	社外*3
1位	社内の1対1コミュニケーションがスムーズになった	92.9%	94.0%	88.9%
2位	業務や意思決定プロセスが整理・可視化され、共通認識を持てるようになった	85.7%	84.3%	79.8%
3位	ツールを使いながら会話することで、社内のチームコミュニケーションがスムーズになった	81.0%	79.5%	76.8%

© 2026 Nulab inc. All rights reserved

cacoo by nulab

アイデアをカタチにしてチーム力を加速！

みんなでつながる「オンラインホワイトボードツール」



© 2026 Nulab inc. All rights reserved

Cacoo（カクー）が実現する業務改善とチームの一体感

オンラインであっても、チームは“共に考え、共に動く”実感を持てる場づくりが欠かせない

1. ニュアンスを含めた情報の「見える化」

補足事項や関連情報などを気軽に書き込み、挿入できるので、ニュアンスや背景を伝えやすい

2. 会議に参加できなかった人に共有

URLを使って、会議の情報をそのまま展開できるので、会議欠席者への伝え漏れや解釈違いも起きにくい



3. 書き込みで気軽に議論に参加

豊富なテンプレートや付箋機能でアイデアや創造的な解決策を生みやすい
付箋へのリアクションやコメントも手軽で、使いやすい



4. リモート化でも「同じ空間」の感覚

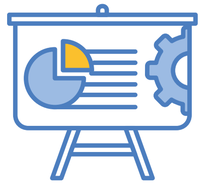
URLでシートを共有、同時編集が可能。議論しながら、意見やアイデアを可視化できるから離れていても対面に近い感覚

© 2026 Nulab inc. All rights reserved

Cacooなら、みんなのアイデアを可視化、チームのゴールをカタチにできる

Cacooの特長

1
直観的な操作
豊富なテンプレート



- 既存オフィスツールに似た操作性
- 185 種のテンプレート
  （2025 年 7 月末時点）
- 独自テンプレートの作成が可能

2
複数人同時での
リアルタイム共同編集



- スムーズな共同作業
- URL による招待でアカウントなしでも参加・編集可能

3
図の簡単共有
外部との連携がスムーズ



- 社内外への共有が URL ひとつで可能
- パスワード・公開期限設定でセキュリティ面でも安心

© 2026 Nulab inc. All rights reserved

CacooとBacklog※の連携が生む共通理解と信頼。チームの成果を最大化！

CacooとBacklogを連携するメリット

- ☑ 図（Cacao）とタスク（Backlog）が紐づくことで、情報の一元管理が可能
- ☑ Cacoo 上で Backlog のタスク情報も一緒に見ることができるため、チームが同じ情報を共有でき、認識のズレや手戻りが防げる
- ☑ Cacoo も Backlog もコメント機能などで意見を出しやすい設計になっているため、チームが一体となって事業を進めやすい

Plan 情報整理 / 合意形成

口頭やテキストだけでは伝わらない構想やアイデア出しをチーム全員に図で共有。
同時編集で多様な視点が集まり、発言の偏りも防げる。

Action ギャップに対する改善立案

Check（評価・検証）のフェーズで明らかになった課題に対する改善案の設計、業務プロセスの改善にはプロセス図などの可視化が重要。



Do タスクの具体化と実行

合意した内容をプロジェクト・タスクに落とし込み、「誰が」「いつまでに」「なにをするか」を明確化、進行を可視化して、チーム全体で実行に移す

Check 進捗の確認 / 成果のレビュー

実行されたタスクを元に、KPI達成状況や遅延など、進捗や成果を客観的に確認。

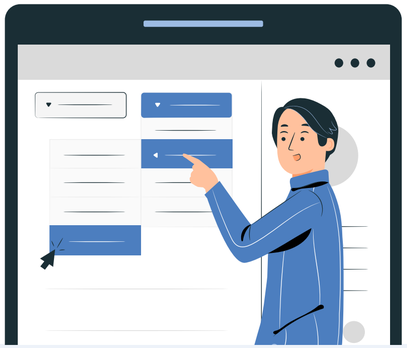
※Backlog は株式会社ヌーラボが提供するプロジェクト・タスク管理ツールです。

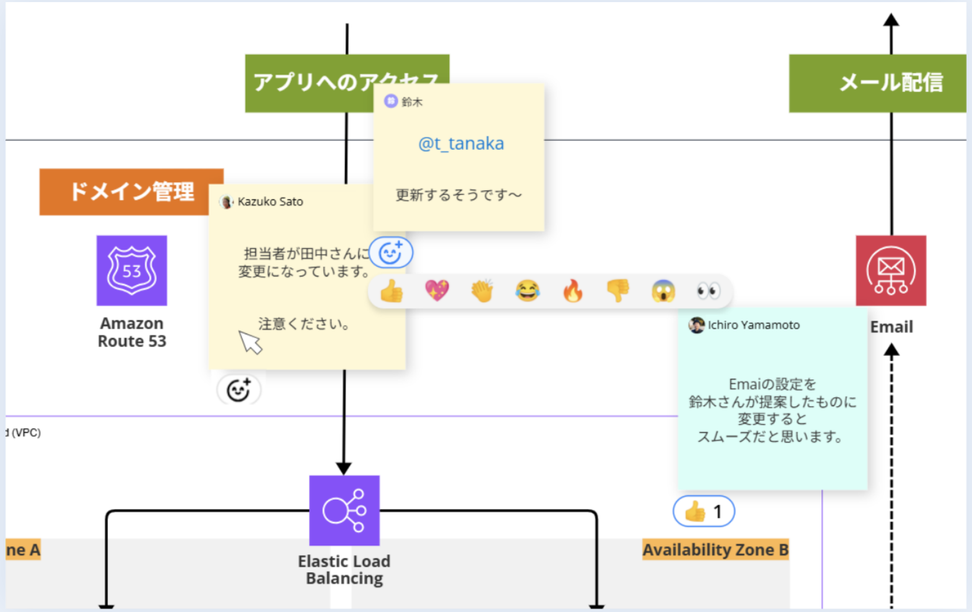
© 2026 Nulab inc. All rights reserved

ONLINE MEETING　オンライン会議をするすべてのユーザー

リアルタイムの意思表示・反応が可能！
付箋 × コメント機能で変わるオンライン会議

付箋やコメント機能を使えば、「ちょっと伝えたい」気持ちを気軽に表現できます。会議中もリアルタイムで反応を示せるため、ライブ感のあるスムーズな意思疎通が可能です。伝えにくいニュアンスも自然に伝わり、チームの一体感が高まります。





利用シーン

- 音声に頼りがちなオンライン会議によるイメージのミスマッチの解消
- オンライン会議の進行・意見の可視化
- その場のアイデアや意見をホワイドボード保存で逃さない

お客様の声



議事の進行を妨げず、気になった点を伝えることができるし、回答や賛否も気軽に書き込めるので、会議の質と生産性が向上

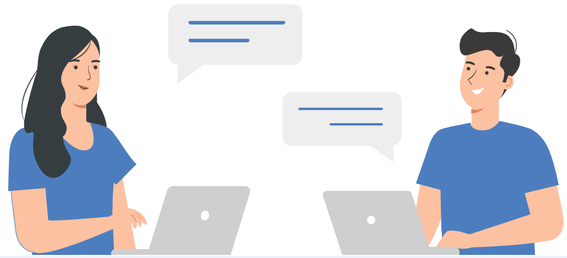


対面時には拍手などのジェスチャーで、自然と意見の賛否が伝わった。オンラインでは難しいと思っていたが、リアクションスタンプ（有料会員のみ）やコメント機能で意思表示が可能に。会議の質を保ちつつ、スムーズな意見交換ができた

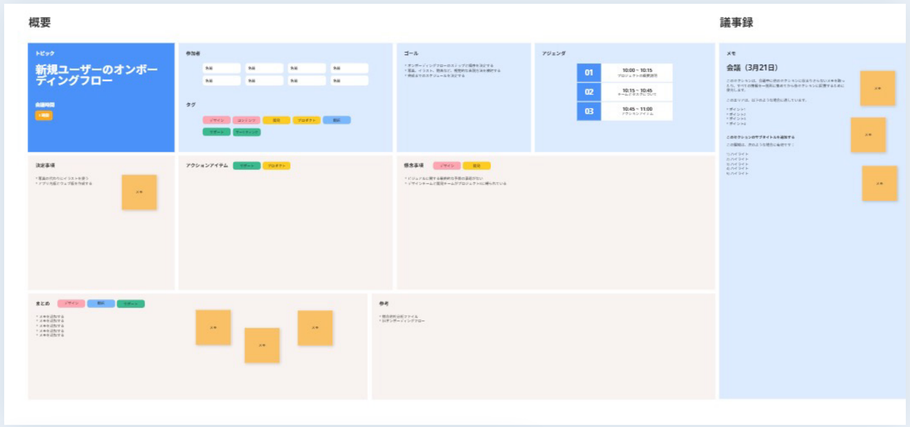
© 2026 Nulab inc. All rights reserved

TEMPLATE | Web サイト｜アプリ制作や新規サービスの企画・開発

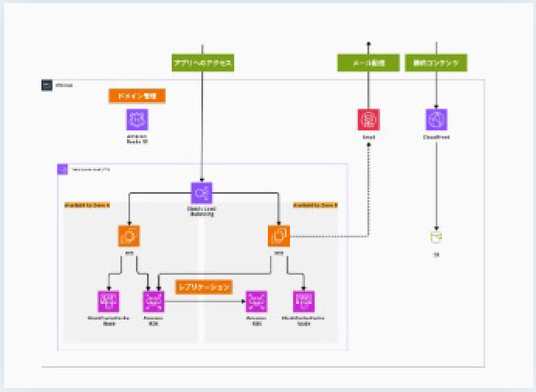
豊富なテンプレートで
プロジェクトのチームワークを最大化



Cacoo のテンプレートは、意見を引き出しやすい工夫が満載。気軽に発言できる雰囲気が生まれ、チームの一体感が高まります。
営業、エンジニア、マーケティング部門など、部署間の意思疎通をスムーズにしたり、社内外の連携を加速させたりすることができます。



▲会議メモ



◀AWS ネットワーク図

利用シーン

■議論を促すテンプレートを使って、チーム全員の意見を出しやすい会議する

■専門性の高い内容もテンプレートを活用して、説明しながらイメージを作っていく

■共同編集で、絵を動かしながら意識のすり合わせを行う

お客様の声



テンプレートに予備の付箋や例が貼られていたことで、メンバーが意見を出しやすくなった。気軽に発言できる雰囲気が生まれ、チームの一体感が高まった



営業としてエンジニアやデザイナーと話すときでも、テンプレートを使えば、伝えたいイメージを伝えやすくなった。エンジニアやデザイナーも、クライアントへ意図を伝えやすくなった

© 2026 Nulab inc. All rights reserved

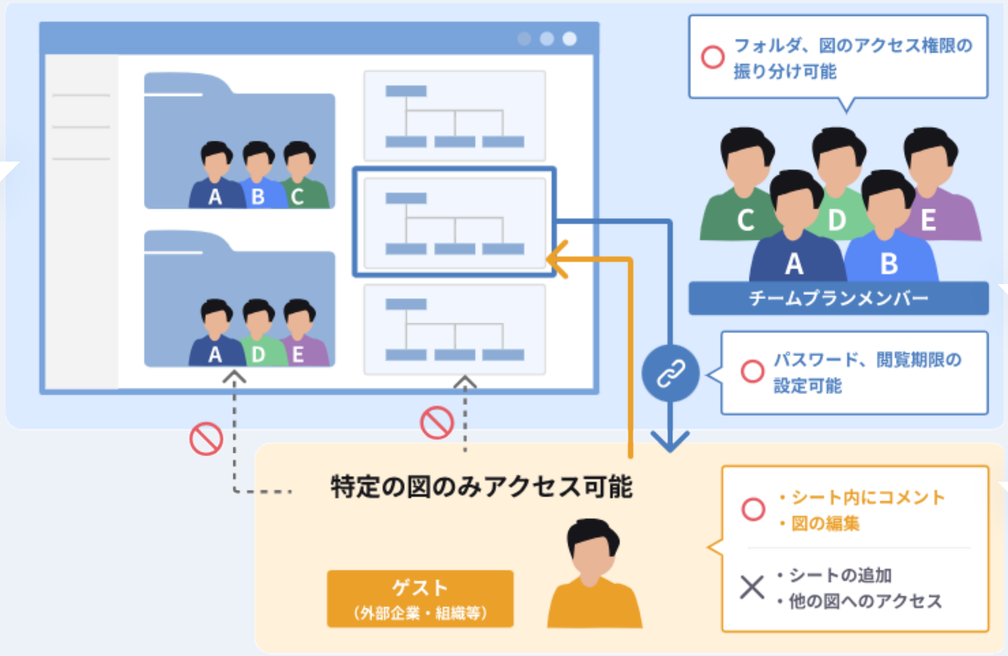
Cacoo なら URL ひとつで チームに届けられる

Cacoo では、図やシートを URL で共有できるため、チーム内での情報伝達がよりスピーディかつ明確になります。
以下のように、利用シーンに応じた共有パターンが用意されています。

共有機能により、意思疎通がスムーズに進み、プロジェクトのスピードも加速します。

図の一部分に 直接リンク

広いシートの中で特定の図だけを見てほしいときは、その図にピンポイントでリンクを付けて共有することが可能です。これにより、「どこを見ればいいの？」という混乱がなくなり、意思のすれ違いも防止できます。



シート自体も リンクで共有

「このシートを見ておいてほしい」そんな場面でも、シート全体のURLをそのままメンバーに共有するだけでOK。Cacooはアクセス権が設定された組織メンバーに限定して閲覧を許可するため、セキュリティ面でも安心です。

© 2026 Nulab inc. All rights reserved

オンラインセミナー・トライアルのご案内

オンラインでもニュアンスまで伝わる一体感を体験してみませんか？

まずは体験してみませんか？



無料ではじめる（30日間）

無料説明会も開催中



個別相談会の予約はこちら

簡易見積もりはサイトから作成可能



簡易見積もりの作成はこちら

※正式なお見積りをご希望の方は、下部のお問い合わせから連絡ください。

導入に関するご相談・ご質問がある方はこちらよりお気軽にお問い合わせください。

© 2026 Nulab inc. All rights reserved